

インド洋～南大洋 (KH07-4 Leg 3) における

マイクロプランクトン群集の分布

塩澤あやか・○今野進・Jordan R.W. (山形大学), 池原実・香月興太 (高知大学)

本研究海域であるインド洋から南大洋には、海水温・塩分・流速などが変化する海洋フロントが 4 つあることが知られている。南アフリカ沿いに存在するアグラス反流フロントと亜熱帯フロント、南緯 40 度付近に存在する亜熱帯フロント、南緯 45 度付近に存在する亜南極フロント、南緯 50 度付近に存在する極フロントの 4 つの海洋フロントでインド洋から南大洋を 5 つに海域を区分けすることができる。本研究では、海域毎にどのような植物プランクトン群集が優先しているか、生息密度がどのように変化しているのか、海域毎に違いがあるかについて研究を行った。

試料は、2008 年 1 月 31 日から 2 月 23 日に行われた学術研究船・白鳳丸の KH07-4 Leg 3 航海(南アフリカ・ケープタウンから南極大陸、オーストラリア・フリーマントルへのインド洋～南大洋)において、表層海水(2L)を 34 箇所採取した。航海中に表層海水をメンブレンフィルター(直径 47mm, 孔径 0.45 μ m)でろ過し、フィルターケースに密封後、冷凍保存した。大学にて、フィルターを 3 \times 3mm(生息密度カウント用)と 6 \times 6mm(写真カタログ作成用)に切り、電子顕微鏡にて検鏡・カウントを行った。

今回のポスター発表では、検鏡での結果の植物プランクトン群集変化を報告する。